






Excel を使った統計表の作成 / グラフを Word に貼ってレポートを作る

課題 1.

1. Report Folder  (X:) の From Teacher フォルダにある担当教員名のフォルダの中にある「各種統計資料」フォルダに統計データがある。ここから適当な資料をみつけて、何らかグラフを作成せよ。
2. グラフから何か簡単なコメント (例えば海上輸送量は年々増加していたが、1995 年には一度減っている、など) を付けよ。
3. グラフに必要な数値などは行、列ごと削除する。削除したい行や列を選択して、ホームメニューの「削除」を行えばよい。
4. 行や列の挿入は教科書 pp.136 以降を参照。
5. pp.112・115 の記述に従い、表示形式を変更し、体裁を整えよ。タイトルを大きくするなど見やすさに配慮すること。これらの作業が済めば印刷して提出。

サンプルデータの取り出し方

コンピュータ  を開き、その  Report Folder (X:)  Report Folder (X:) をダブルクリックして開く。そこに表示される From Teacher と書かれたフォルダ  を開いて、多くのフォルダの中から講師名のフォルダをみつけて開く。続いて基礎実習初級フォルダを開いて、「各種統計データ」のフォルダの中にある Excel 文書ファイル  をダブルクリック。

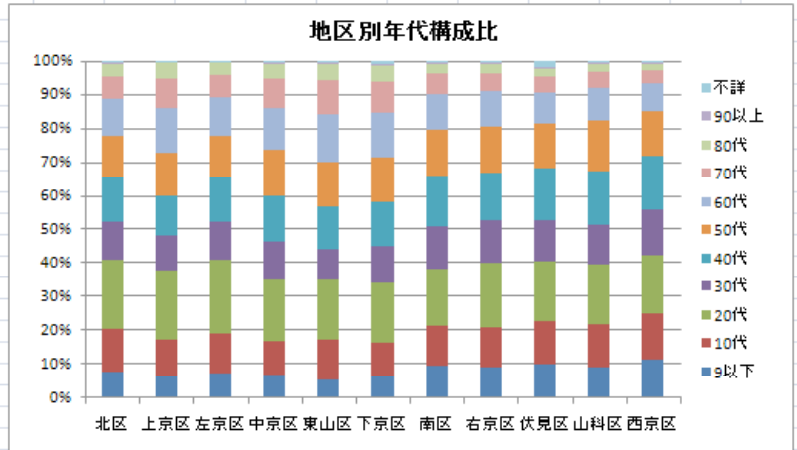
課題 2.

上の課題のために作ったグラフを Word に貼り付けて整形し、レポートとして作成する。

1. グラフを Word に貼り付ける方法は、教科書 p.184 以降を参照する。
2. 以前の実習内容を思い出して、あて先やタイトル、自分の情報の体裁 (右寄せなど) を正しくすること。
3. グラフは真ん中寄せにすること。
4. pp.185 に説明されている形式のうち、今回は「図(Windows メタファイル)」の形式で貼り付けること。
5. データの出典情報を正しく記載すること。

別紙のサンプルは、京都市の年齢別人口数の表から、必要なデータだけを含んだ表を作り出してからグラフ作成をさせている。

	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	下京区	南区	右京区	伏見区	山科区	西京区
9以下	9,925	5,207	12,813	6,186	2,544	4,630	9,604	18,068	28,742	12,573	17,065
10代	16,020	9,188	20,401	9,332	5,713	6,824	11,569	23,543	36,889	17,079	20,539
20代	26,154	17,363	37,133	16,223	8,607	12,538	16,770	37,769	49,865	24,621	26,144
30代	14,086	8,656	19,220	10,369	4,460	7,899	12,611	25,027	35,357	16,330	20,875
40代	16,771	10,109	23,345	12,430	6,046	9,143	14,805	28,000	44,109	21,711	24,132
50代	15,814	10,687	21,111	12,356	6,419	9,409	13,307	27,009	37,338	20,538	19,398
60代	13,982	10,820	18,931	11,421	6,825	9,346	10,496	20,149	26,843	12,893	12,482
70代	8,616	7,502	11,948	7,744	4,715	6,439	6,044	10,813	14,198	6,838	6,458
80代	4,740	3,978	6,019	4,266	2,471	3,419	2,815	5,519	6,602	3,466	3,006
90以上	650	517	898	476	337	405	263	826	806	454	332
不詳	320	34	211	259	104	610	621	877	5212	601	687

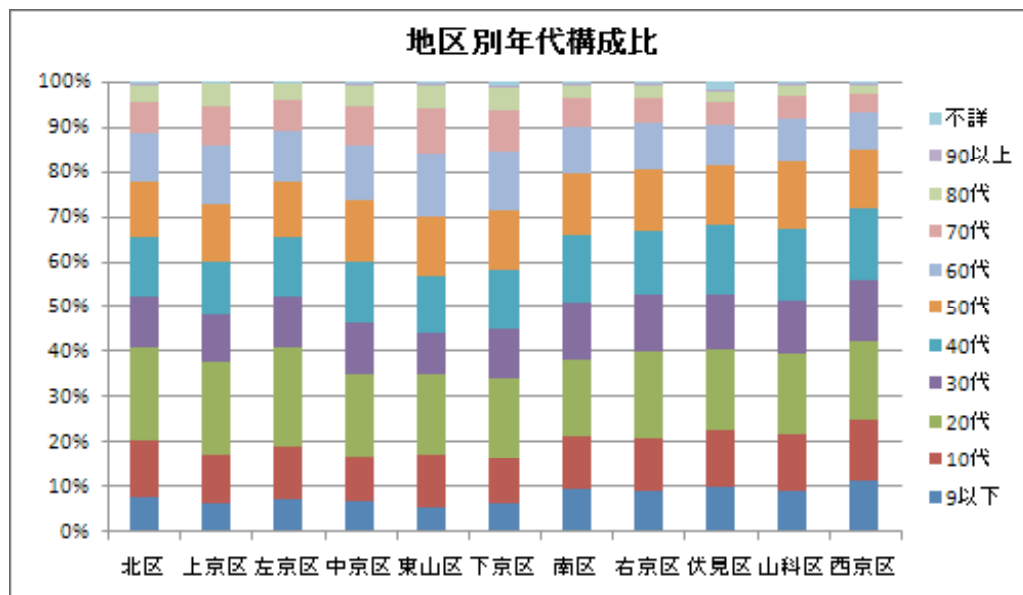


具体的には、元データは各年齢ごとだったが、10 歳ごとの人口合計を計算した図のような表を作った。このように不要な行を消したり、必要な数値を計算して、わかりやすい情報の提示となるよう心がける。

これも完成すればネットワーク越しに提出しておくこと。課題 1. と同じところに提出しておけばよい。(Excel 文書と、Word 文書を並べて登録しておけばよい)

京都市の地区別年代構成比について

京都市の各地区における年代別の人口比率について調査した結果、以下のような構成となっていることが分かりましたのでここに報告します。



特徴：

1. 各地区によって、かなりのばらつきがあり、未成年人口が全体の 40%を越えるところもあれば、30%前半のところもある。
2. 同様に 60 歳以上の高齢者が 15%程度から 30%を越えるまでの差がある。

なお、伏見区だけが年代不詳となっているデータが多かったため、伏見区は除外して考えるほうがよいかもしい。

出典：

京都市統計資料：平成 7 年国勢調査
年齢(各歳),男女別人口-京都市・行政区

<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/census/census1995f1.html>